

中部経済新聞

MID-JAPAN ECONOMIST

April 3, 2008

名古屋に新事務所

コート
イン
ボイ
・

航空宇宙関連や
車部品需要開拓

日本法人を設立

熱処理加工世界最大手
のボディコート・インタ
ーナショナル(本社英国
チェシャー州)は二日、
日本法人「ボディコート

・ジャパン」(ジュリア
ン・ペイシヨア社長)を
設立したと発表した。二
〇〇七年までに国内最初
の工場を立ち上げ、自動
車部品や航空宇宙関連産
業の需要を開拓する。

新事務所は名古屋市西
区の名古屋ルーセントタ
ワー四十階(電話052
・912・5518)に
開設した。当初スタッフ
は三人。中期計画では国
内に十工場を展開し、従
業員五百人、売上高五十
億円をめざす。

同社は世界三十五カ国
に一万一千人の従業員を
持つ熱処理受託加工業者
で、〇七年度売上高は十
億米ドルを上回る。販売連
絡事務所の設立は中国、
インド、シンガポールに
続きアジア五カ国目。同
社は日本政府や自治体、
名古屋産業界などが対内

直接投資を促す「グレイ
ター・ナゴヤ・イニシア
チブ」のメンバーで今回、
日本貿易振興機構(ジェ
トロ)などが市場参入を
支援した。